

開星英語村通信

KAISEI English Village Letter

No. 01

平成30年5月7日(月)発行

みなさんこんにちは。

5月1日(火)開星英語村が開村しました。様々な国の外国人スタッフにお越しいただき第1回をスタートさせることができました。前半、中学1年生、後半高校3年生が参加し、充実した時間を過ごしてくれました。

今回お越しいただいた外国人の皆さんは、バングラデシュ、ナイジェリア、ベトナム、ポーランドと、様々な国から島根大学へお越しの留学生さんたちです。

中学1年ベーシックコースの生徒は、授業で自己紹介を学んだので、早速実践してみました。お1人の留学生に3~4名の中学生が1つのテーブルを囲み、会話を楽しみました。時間を区切ってグループが移動をして、全員が5人の留学生とやり取りをしました。最初はちょっと緊張気味でしたが、徐々にリラックスして臨めるようになったようです。

中学1年生アドバンスコースの生徒は、春休みに準備したシートを使ってプレゼンを試みました。留学生の皆さんは誰もが真剣にそのプレゼンを聴いてくださいました。そして、色々な質問をしてくれました。

高校3年生は、自分の進路について英語でスピーチをしたり、留学生の方がなぜ日本に学びに来ているのかを聴かせていただいたり、普段なかなか体験できない貴重な時間を過ごしました。さすがは高校3年生だと感じさせるやり取りがたくさん見られ、ただただ感心するばかりでした。

初日の感想をご紹介しますね。



島根大学の留学生の皆さん



実際に外国の方と英語を使って話す良い機会になりました。私の自己紹介の紙に、外国の方が質問してくださったり、興味を持ってくださったりして、うれしかったです。でもたまに相手が何を言っているのかわからないときがあって悔しかったので、もっと英語を頑張りたと思いました。今度は「ジブリ」の話をしたり、私が相手に質問をしたりして、もっと会話を楽しめたらよいなと思いました。

今回は、色々な国の方々と話をする事ができて、とても楽しかったです。それぞれの国について教えてもらえて、勉強になりました。次は、英語を勉強している理由を聞きたいです。



私は英語に興味があります。しかし、難しいと感じています。この間、駅で外国の方に「道を教えてほしい」と言われました。しかし、急に英語で話されたことに動揺してしまい、結局答えず仕舞いになってしまいました。この悔しい経験から「英語をスラスラと話せるようになりたい」と思い、この英語村に参加することを決めました。最初は緊張してしまい、「うまく伝わらなかつたらどうしよう」と不安が募るばかりでしたが、先生方が温かく迎えてくださったり、外国の方々



が、私の話に耳を傾けて聴いてくださったりしたおかげで不安は消え去り、楽しい時間を過ごすことができました。

会話の中で何とっておられたか聴き取れない所や上手く伝えられなかった所もありましたが、それよりも伝わった所や話せたことのほうが多く、自分に少し自信がつかしました。また、外国の方々がたくさんお話がしたいと思っているので、次に参加するときは、今回よりもさらにレベルアップした会話にしていきたいです。

自分は英語に自信がないので、参加する前は緊張していましたが、入ってみると、外国人の先生方が、優しく対応してくださって、とても安心しました。話しているうちに、だんだんと質問が聞き取れるようになったり、もっと自分から英語で話したくなったりしました。また、色々な国の方がおられたので、日本とは違う文化や習慣なども知ることができて楽しかったです。一方で、先生方の自己紹介を聞く中で、自分はまだまだ英語で自分を表現できないことに気づきました。なので、次回参加するときには、もっと自分をアピールできるように英会話の練習をしたいと思います。

英語村は、授業よりも先生との距離が近く、また、たくさんの先生方がおられるので、より楽しく英会話が学べるなと思いました。将来、英語が必要ないことは絶対ないので、この英語村を通して、英語が好きになれたらいいなと思います。次回からも続けて英語村に参加していきたいと思います。とても楽しかったです。



今回は、前半は中学1年生11R・12Rのみなさん、そして後半は探究部の高校3年生4人の生徒さんに参加してもらいました。感想からもわかるように、「やる前は、ちょっと緊張していたけれど、やってみると楽しかった」というのが、多くの生徒さんの率直な気持ちのようです。次回は、前半に中学1年生13Rのみなさん、そして後半は学園の生徒さん全員が対象となりますので、ぜひぜひ、参加してみてくださいね。